

News Release

2018年5月7日

株式会社野村総合研究所

外国証券を扱うバックオフィスソリューション「I-STAR/GX」を米国で提供開始
～ 米国トムソン・ロイター社が外国証券の処理業務として採用 ～

株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:此本 臣吾、以下「NRI」)は、日本国内で活動するホールセール証券会社に、バックオフィス業務を円滑に処理するためのソリューション群「I-STAR ファミリー*1」を提供しています。このほど、そのラインアップに、自国以外で流通する有価証券(以下「外国証券」)の取り扱いに特化した「I-STAR/GX(以下「当システム」)」を米国市場に展開します。

トムソン・ロイター社は、米国証券会社向けに、バックオフィス業務を処理するためのソリューション“Thomson Reuters BETA”(以下、「BETA システム」)を展開していますが、同社では当システムを導入し、BETA システムと組み合わせて米国の顧客向けに提供を開始予定です*2。

■手作業が多く残る外国証券を扱うバックオフィス業務を改革

金融先進国においては、各国の低金利政策を受け、リスク分散や収益確保の観点から国際分散投資の重要性がますます高まっています。

しかし、国際分散投資に必要な外国証券の取引は、従来ビジネス規模が小さかったため、それを処理するためのシステム投資が遅れていました。そのため、現在も手作業が多く残り、「取引拡大ができない」、「事務的なエラーの発生リスクが高い」といった課題を抱えています。

I-STAR/GX は、外国証券の決済・預託残管理・コーポレートアクションの機能をユーザー企業に提供し、既存の国内証券基幹業務システムと連携することで、STP*3 化と国内基幹システムへの記帳の統合を実現し、上記の課題が解決されます。

■米国トムソン・ロイター社が導入を決定

近年、米国市場においても、外国証券の取引に対する投資家ニーズは高まっており、米国で BETA システムを展開するトムソン・ロイター社はそれを補完する外国証券の取引管理機能を持つ NRI のソリューションを採用するに至りました。採用にあたっては、NRI の外国証券バックオフィス業務に関する高い専門性と、I-STAR/GX の優れた機能性が評価されています。

BETA システムと I-STAR/GX を組み合わせることにより、従来、ユーザー企業はカスタディ端末と BETA システムへの二重入力が必要となっていた外国証券の取り扱い処理が一本化されるとともに、海外カスタディとの SWIFT コミュニケーションから、BETA システムの記帳までが STP 化され、業務効率の改善とオペレーションリスクの低減が図れます。

■日本においてもサービス提供予定

現在、日本市場向けの SaaS 型の I-STAR/GX を開発中です。I-STAR/GX は単独で利用することも可能ですが、STAR や I-STAR/CORE と標準インターフェースでデータ連携を行うため、STAR や I-STAR/CORE を利用中のユーザーは、I-STAR/GX の導入にあたって、データフローの検討やシステムインターフェース開発等の負荷を抑えることができ、スピーディーな導入が可能となります。

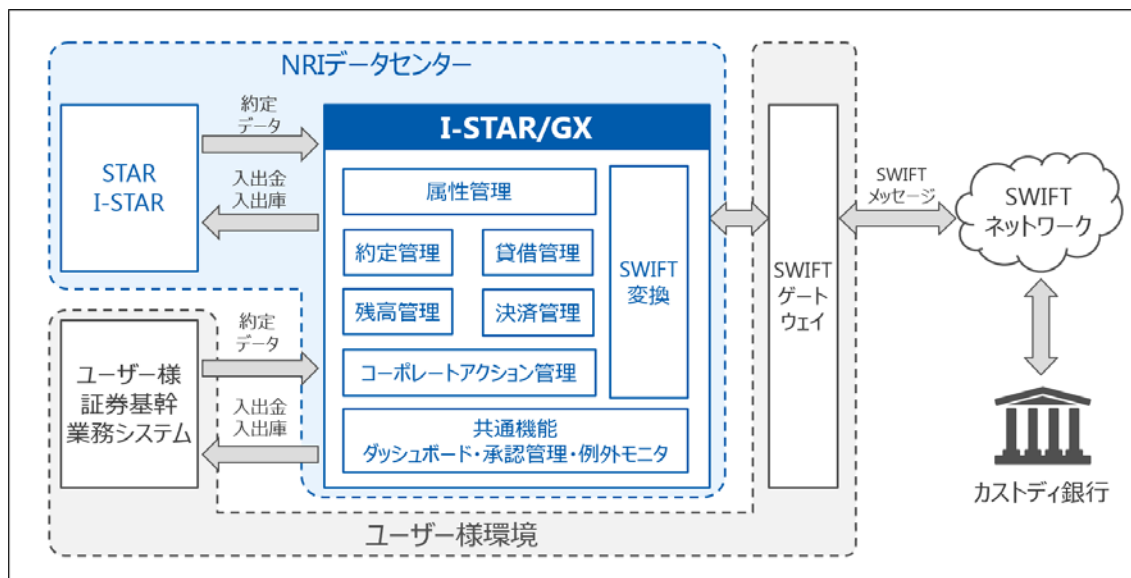


図 1：証券基幹システムと I-STAR/GX の連携イメージ

NRI は今後も、国内外問わず、金融業界におけるデジタルによる業務改革に取り組んでいきます。

*1 I-STAR ファミリー：ホールセール証券ビジネスを総合的にサポートするソリューション

*2 関連ニュースリリース：http://www.nri.com/global/news/2018/180503_1.aspx

*3 STP：Straight through processing の略。取引データ取り込み後、手作業無しにシステムで自動処理されること。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 十河、若林

TEL：03-5877-7100 E-mail：kouhou@nri.co.jp

【ソリューションに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 証券ソリューション事業本部

証券ホールセール事業一部 金子

証券グローバルシステム二部 染谷

TEL：045-277-9900 E-mail：istar-sales@nri.co.jp

【ご参考】

■I-STAR/GX の機能概要

日本の証券会社が既に利用している、国内証券を扱うための基幹システムに、後から外付けする形で導入することで、外国証券の約定処理以降の業務サイクル（決済～預託残管理～コーポレートアクション）を統合的に管理できます。現物取引だけでなく、ホールセール証券ビジネスで要求される、外株貸借、外債レポ、外証担保差入・返戻など多様な取引バリエーションにも対応しています。

【I-STAR/GX のサポート範囲と主な機能】

項目	サポート対象
商品	外国株式、外国債券、外国籍投信
市場	米国、英国、ユーロ諸国、ユーロ市場、香港、シンガポール等 ※対応市場、カストディアンは証券会社の利用状況に応じて NRI 対応とするか適時検討。SWIFT Standard Release は NRI にて対応予定
取引	現物取引、貸借、レポ・現先、担保差入・返戻
対象 MT	証券決済関連：MT540～543, MT544～547, MT548 証券預託残：MT535 コーポレートアクション関連：MT564, MT565, MT566, MT567, MT568

主な機能	
<p><属性機能></p> <ul style="list-style-type: none"> - 銘柄属性管理 - 口座属性管理 - QI 属性管理 - カレンダー属性 <p><取引管理機能></p> <ul style="list-style-type: none"> - 約定記録（現物） - 取引記録（貸借） <p><決済管理機能></p> <ul style="list-style-type: none"> - SSI 管理 - QI 振替生成 - 決済指図送信 - 決済ステータス管理（照合・完了） - ネット・スプリット 	<p><残高管理></p> <ul style="list-style-type: none"> - 残高計上 - 現地残照合 - ストックレコード <p><権配管理></p> <ul style="list-style-type: none"> - 権利情報管理 - 権利計算 - 受領管理（対カストディ） - 支払管理（対顧客） - オプション行使 - 入出金フィード - 入出庫フィード